

JPDU Spring Tournament 2012 Scoring Guide

*以下で具体的な勝敗等に触れられていますが、イメージとしてはこのスピーカーが 3 人いたとしたら何勝だろう.....
のように、「このスピーカーが 3 人いたとしたら」と仮定してポイントをつけて下さい。

*Constructive Speech は Range が 68-82 で、1 点刻みです。

*Reply Speech は Constructive Speech の半分である 34-41 で 0.5 点刻みです。

68-69 Extremely Poor (NA=4/4)

このスピーカーが 3 人いたとしたら、この大会において毎回負けてもおかしくないほどのスピーチ。英語が著しく伝わってこない、何を言っているのか非常に分かりづらいというように、全ての面において大きな問題があり、評価に困る。この点数はつけてもいいですが、よほどひどかったときのみにして下さい。

70-71 Poor (NA=4/5 or 5/4)

このスピーカーが 3 人いたとしたら、1 勝できるかどうかのレベルのスピーチ。内容は Motion からずれているか、ずれていなかったとしても Reasoning が著しくないに等しい。直前のスピーカーに反応する意思がなかったり、議論を進めていない等目に見える大きな問題点が見受けられる。

72-73 Below Average (NA = 5/5)

このスピーカーが 3 人いたとしたら、1-2 勝をするレベルのスピーチで、ブレイクする可能性があまり望めない。Motion との関連が薄い・Reasoning や Example 等の説明が抜けている等の理由から説得されづらい・ストラクチャーや Word choice に難がある・スピーチが分かりにくい・繰り返している・Refutation と称して Argument をぶつけている・ラウンドをまとめていない・スタンスが分かりづらい等の問題がある。

74-76 Average (NA= 5/6 or 6/5 ~ 6/6)

このスピーカーが 3 人いたとしたら、2 勝程度し、相当運がよければブレイクもするスピーチ。Motion に即している主張がある程度 Reasoning や Example 等によって支えられている。反論やストラクチャー、Word Choice、POI 等も、外しているところもあるが「最低限こなしている」と考えられるレベル。

77-78 Above Average (NA = 6/7 or 7/6)

このスピーカーが 3 人いたとしたら、3 勝の可能性が高く、ブレイクはするであろうスピーチ。外しているところが少しあったとしても、平均的な参加者と比較すると一つ以上、長所が見受けられるスピーチ。具体的な長所の例としては、主張が Motion に関連する Reasoning や Example 等によって支えられており、一言では反論できない・分かりやすいスピーチ・ユニークネスに言及した分析・細かいアクター分け・相手との比較・鋭い反論・優れた Word choice・POI の内容や受け答えが優れている等が挙げられる。(長所が多ければ多いほど点数があがっていく。)

79-80 Good (NA= 7/7-7/8)

このスピーカーが 3 人いたとしたら、3 勝は確実に 4 勝の可能性も有り、ブレイクの可能性が高く、場合によっては QF や SF まで進めそうなスピーチ。主張は Motion に即し、Reasoning や Example によってしっかりと支えられて反論がしづらい。POI、Structure や Word Choice 等に関してもしっかりとこなしている。短所よりも、長所の方が多く見受けられる。

81-82; Excellent (NA = 8/8)

このスピーカーが 3 人いたとしたら、間違いなく全勝するスピーチ。Speaker としても確実に Best Speaker をとれるであろうと思われる。ほぼ完璧で、言うことが簡単には見当たらないほど、感動に値する。この点数はつけてもいいですが、よほどよかったときのみにしてください